エコノミックレポート2019年版

WORLD
EMPLOYMENT
CONFEDERATION
The Voice of Labour Market Enablers

LEADING
IN A CHANGING
WORLD OF WORK

WORLD
EMPLOYMENT
CONFEDERATION
The Voice of Labour Market Enablers

World Employment Confederationについて

World Employment Confederationは、世界50か国の各国協会及び国際的労働力ソリューションを提供する世界７大企業から成る人材サービス業界の声を代表するグローバルレベルの組織である。World Employment Confederationのメンバーは、人材派遣、直接採用、キャリアマネジメント、Recruitment Process Outsourcing (RPO)及びManaged Services Provider (MSP)を含めた幅広い人材サービス業界を代表している。

World Employment Confederationは、仕事、適応、安全及び繁栄を実現する人材サービス業界が果たすポジティブな社会経済的役割の認識を広めるべく努力している。その活動は、①政策立案者、社会的パートナー及び学識経験者のような関係するステークホルダーとのネットワークの構築、②高度な人材サービスのスタンダード及び実務の定義の構築、③ 未来を見据えた、競争力のある労働市場を形成し、人材サービスに関する戦略的データの提供していくオピニオンリーダーとしての活動と幅広い。

このEconomic Reportの内容に質問があれば、World Employment Confederation本部：info@wecglobal.org に連絡ください。

目次

はじめに 02
人材サービス業界 05
人材サービス
労働者派遣 10
直接採用 14
キャリアマネジメント 15
MSP 16
RPO 17
世界の各地域
北アメリカ 18
南アメリカ 19
ヨーロッパ 20
アジア太平洋 21

はじめに

2017年、人材サービス業界は多様化し続けている。労働者派遣が大部分の収益を生み出す中核的位置づけであるのは変わらないものの、そのグローバルな人材サービス業界に占めるシェアはおよそ３分の2と、過去３年間比較的安定した状態に留まっている。

直接採用及びMSPは、直接採用が50%超の増加というように、業界を牽引している。RPOもまた、全人材サービス業の中ではシェアは小さいものの、積極的な成長を記録している。

このような成長の結果、人材サービス業界は165,000社のネットワークからグローバルで4,570億ユーロの収益を生み出した。今後の見通しも、メキシコ、ブラジル、スペイン、イタリア及び日本が強力なパフォーマンスを示しており、明るい。2017年、世界中で人材サービス業界は5,300万人の就職を支援した。

もしこれまで継続してWorld Employment Confederationのエコノミックレポートを見ておられたら、この2019年版が少しこれまでと違うことに気づかれるであろう。このレポートで、異なる人材サービスごと、そして世界の各地域ごとの両方で人材サービス業界市場の包括的な概観を提供することにした。

これまでのレポートでは我々の業界がいかに仕事、適応、安全及び繁栄を実現することに貢献してきたかを示すデータを含んでいた。現在、我々の社会的インパクトをレポートしようと努力しており、近い将来このようなデータをお示しする新たな方法を開発していく。

Denis Pennel
専務理事

Even Hagelien
経済委員会 委員長

このレポートに含まれる民間人材サービスの概観

労働者派遣

労働者派遣は、三角雇用関係で、ILO第181号条約で次のように定義されている：「仕事を割り当てその実行を監督する人もしくは法人である第３者（派遣先企業）のために利用させる目的で労働者を雇うサービス」。

Managed Services Providers (MSP)

企業の派遣労働力計画の管理について一義的な責任を負うサービスである。MSPの典型的な責任には、全体的な計画の管理、報告、追跡、供給会社の選択及び管理、注文の振り分け、またしばしば統合請求書の送付を含む。MSPは派遣会社とは独立していることもそうでないこともある。

直接採用（Direct Recruitment）

直接採用（Direct Recruitment）は、民間人材サービス会社が雇用関係の当事者となることなく、求人と求職のマッチングをするサービス（出典：ILO第181号条約）で、エグゼクティブサーチを含む。

Recruitment Process Outsourcing（RPO）

Recruitment Process Outsourcing（RPO）は、第3者専門家として、クライアント企業の採用プロセス及び関連業務の全部又は一部をマネジメントする人事部機能を担い、必要なスキル、活動、ツール、テクノロジー及びプロセス方法論を提供するサービスである。

キャリアマネジメント

キャリアマネジメントの主要なサービス分野としては、個人、幹部、そしてグループのアウトプレースメントサービス及びその他の転職サービスがある。これらの分野においては、アウトプレースメントサービス会社が幅広い人材サービスを提供する。それには、履歴（経歴）書作成、面接スキル、求職戦略、コーチング及びキャリアガイダンスが含まれる。一般的には雇い主がこれらのサービスにかかわるコストのすべてを負担する。

主な数値（Key Findings）

2017年、民間人材サービス業界は、全世界で4,570億ユーロの売上高を産み出したが、これは年率13%の成長を示すものである。その多くのシェアは3,700億ユーロ*を超える売上高の労働者派遣によるものである。ヨーロッパでは、五大市場すべてにおいて成長を記録した。イタリアでは2016年に比べ25%成長し、オランダでは11%、フランス、イギリス及びドイツ市場においてはそれぞれ10%、9%、8%と成長した。大西洋の反対側の米国市場は2017年（少なくともドル建てでは）わずかに成長し、売上高において世界最大市場に留まっている。アジア市場について見れば、日本が大きく成長し2017年売上高を22%伸ばした。

MSP及びRPOは2017年すべての地域において成長し、MSPでは米国が世界の最大市場で60%近い**シェアを占める。ヨーロッパ、中東及びアフリカにおけるRPO市場は2016年に比べ33%***成長した。全世界では、MSP及びRPO市場はそれぞれ12%**及び16%***成長した。

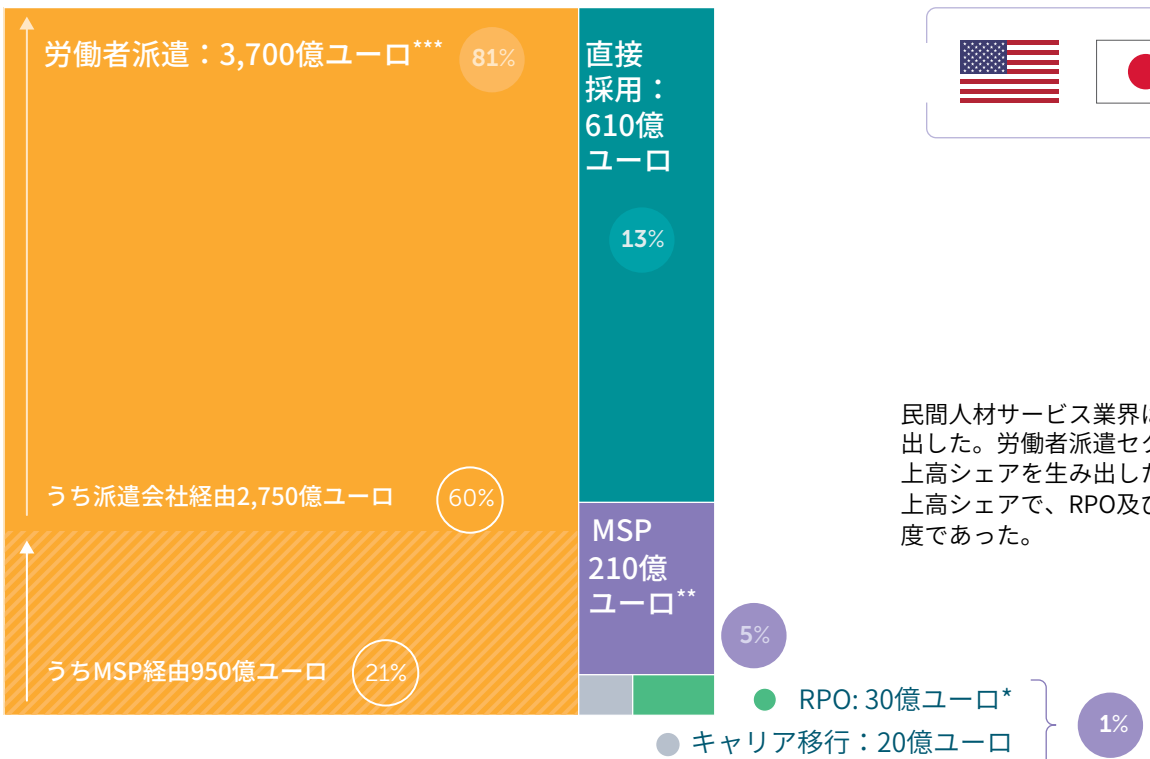
直接採用サービスの全世界での売上高は2017年610億ユーロに達した。米国市場が大きなシェアを占め、230億ユーロ超を生み出している。しかしながら、アジア太平洋市場も伸びており、2017年で213億ユーロを計上した。全体として、直接採用サービス業界は2017年に年率50%以上の成長をみた。

キャリアマネジメント業界の大きな部分を占めるキャリア移行及びアウトプレースメントサービスは、2017年、20億ユーロを生み出したと推定される。米国が6億5,300万ユーロと推定され最強の市場となっている。オランダ及び日本が2億2,500万ユーロと次に続く。

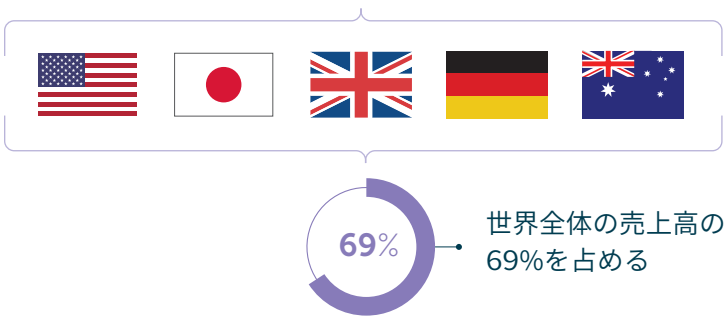
2017年は50か国の民間人材サービス業界は5,300万人の就職を支援した。

*MSPにより生み出された労働者派遣の売上高を含む。**Staffing Industry Analystsのデータによる。***Everest Groupのデータによる。

民間人材サービス業界の世界市場
2017年：4,570億ユーロ



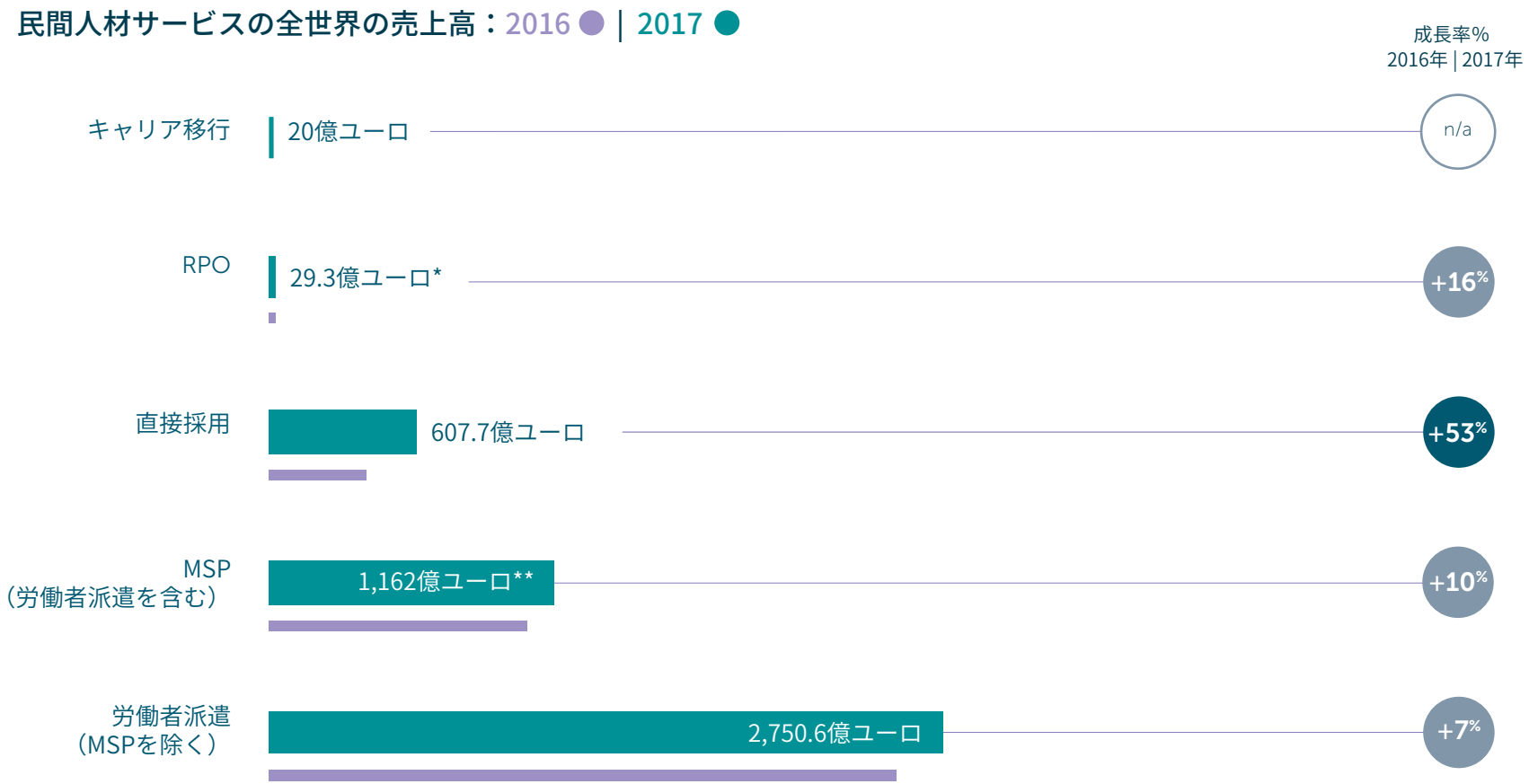
トップ５大市場（売上高）
2017年：3,170億ユーロ



民間人材サービス業界は2017年、世界全体で売上高4,570億ユーロを生み出した。労働者派遣セクター（MSPを除く）は全市場の60%と、最大の売上高シェアを生み出した。MSP及び直接採用はそれぞれ5%及び13%の売上高シェアで、RPO及びキャリア移行は合わせて全体の1%を少し上回る程度であった。

* Everest Groupのデータによる。　** Staffing Industry Analystsのデータによる。
***MSPのおよそ80%が労働者派遣から成り立っている。そのために労働者派遣を分けて記載している。

すべての人材サービスの市場成長



* Everest Groupのデータによる。** Staffing Industry Analystsのデータによる。

全体として、民間人材サービス市場は2017年、すべての種類のサービスにおいて市場規模が拡大し、いわば組織的に成長した。労働者派遣、直接採用、キャリア移転、RPO及びMSPを合わせた売上高は対前年比+13%を記録した。

労働者派遣の売上高2,750億ユーロ（MSPを除く）、全体の60%と主要なシェアを占めている。2017年、労働者派遣の売上高は７%成長した。

MSP市場が、2017年、1,000億ユーロを超え1,160億ユーロに達し、民間人材サービス業界の２番目に大きな分野である。年率10%*近い伸びを示した。MSPにおいて労働者派遣が大きなシェアを占めている。**

収集したデータによれば、直接採用サービスは、50%以上の成長で610億ユーロと、売上高で最も顕著な増加を示した。

RPOは2017年、30億ユーロ近い売上高を生み出し、これは2016年比16%以上の増加である。***

キャリア移行及びアウトプレースメントサービスが大部分を占める、キャリアマネジメント業界の世界市場規模は、2017年、20億ユーロと推定される。

全世界の民間人材サービス業界に占める労働者派遣のシェアは、過去３年間、およそ3分の2と比較的安定的である。直接採用が2017年、業界全体の全世界売上高の13%と、これまで2年間のおよそ8%に比べ貢献を増してきた。MSPも2017年、25%超とシェアを伸ばしてきている。RPO及びキャリアマネジメントサービスは成長しているものの、ベースが小さいため市場シェアは小さいままである。

* Staffing Industry Analystsのデータによる。**詳細はConsult methodology sectionにて。*** Everest Groupのデータによる。

サービス提供企業数は増加

2017年、全世界で165,000社近い民間人材サービス会社が活躍し、コアビジネスに集中したい企業に対し様々な人材サービスを提供している。2016年と比べて16%増えている。

民間人材サービス業界の半数近くの会社が派遣会社である。世界中で77,000社以上の派遣会社がクライアント企業に派遣社員を派遣しているが、これは2016年と比べて22%増である。

52,000社という大きなシェアの会社が直接採用分野で活躍している。

仕事の世界は絶え間なく変化しており、柔軟性の要求は雇用主からも従業員からも高まっているので、民間人材サービス会社の提供するサービスはますます需要が高くなっている。

民間人材サービス会社で働く内部スタッフ数は、2017年、270万人に達し、前年に比べ著しく増えている。

民間人材
サービス会社数
164,708社

+ **16%** 対前年比

- 派遣会社
- 直接採用会社
- MSP
- RPO
- キャリアマネジメント会社

内部スタッフ数
2,695,524

+ **42%*** 対前年比

注：ここでの民間人材サービス会社数はWorld Employment Confederationのメンバーから収集した情報だけによっている。すべての国からデータが収集されているわけではないので、全世界の実際のサービス提供会社数はもっと多いものと思われる。

*この増加の多くは、日本、中国及びロシアにおける民間人材サービス業界の発展に起因。

2017年、5,300万人の就職が支援された

派遣労働者数

アメリカ	15,500,000
中国	8,930,000
ブラジル	7,800,000
日本	4,943,952
フランス	2,600,000
インド	2,100,000
ドイツ	1,032,238
ポーランド	863,825
オランダ	856,638
スペイン	708,613
イタリア	684,000
ベルギー	656,281
コロンビア	461,041
スイス	364,941
オーストラリア	344,900
チリ	180,000
メキシコ	170,613
スウェーデン	168,000
チェコ共和国	166,000
ポルトガル	166,000
アイルランド	130,000
ハンガリー	124,576
デンマーク	120,000
ノルウェー	105,000
オーストリア	91,411
ルーマニア	57,338
フィンランド	53,291
アルゼンチン	49,991
ニュージーランド	40,600
ロシア	34,300
ギリシャ	29,800
ルクセンブルグ	26,145
クロアチア	18,000
ブルガリア	10,032
エストニア	5,500
トルコ	1,000

2017年、民間人材サービス業界は5,300万人の就職を支援し、世界中の労働市場に積極的に貢献した。およそ4,900万人と、大多数の雇用は労働者派遣を通して実現された。2016年と比べて、派遣労働者数は19.5%増加している。米国では1,550万人が民間人材サービス会社を通して仕事に就いており、世界でトップである。中国、ブラジル、日本及びフランスがそれに続く。

世界中で
民間人材サービス会社
の支援により就職した人数
5,300
万人

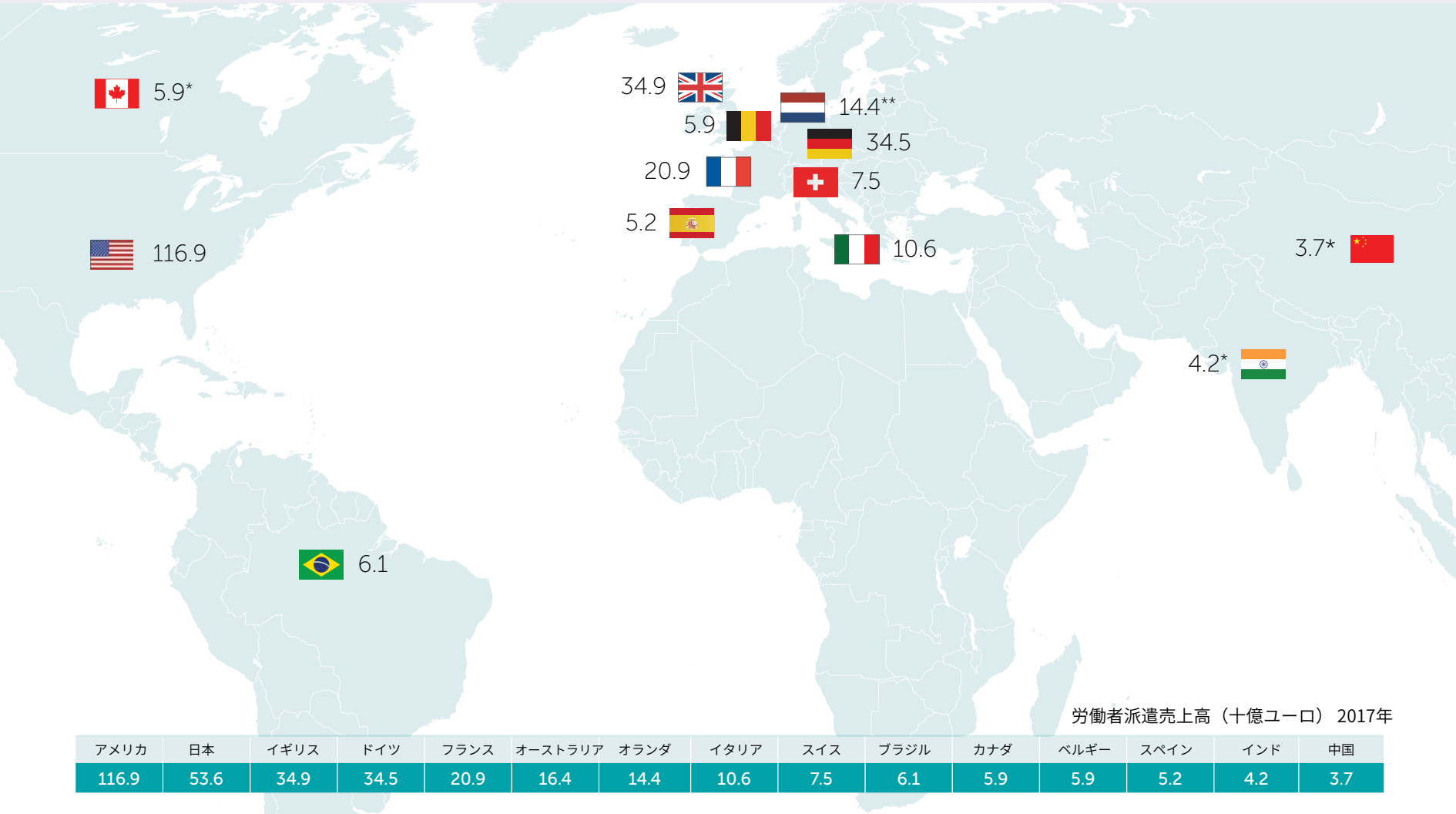
直接採用で
就職を支援された人数
380
万人

労働者派遣会社で
就職を支援された人数
4,900
万人

注：ここでの就職を支援された人数は、World Employment Confederationのメンバーから収集した情報である。すべての国からデータが収集されているわけではないので、全世界の実際に就職を支援された人数はもっと多いものと思われる。

人材サービス

米国が労働者派遣市場で最大



労働者派遣売上高（十億ユーロ） 2017年

アメリカ	日本	イギリス	ドイツ	フランス	オーストラリア	オランダ	イタリア	スイス	ブラジル	カナダ	ベルギー	スペイン	インド	中国
116.9	53.6	34.9	34.5	20.9	16.4	14.4	10.6	7.5	6.1	5.9	5.9	5.2	4.2	3.7

* Staffing Industry Analystsのデータによる。**CBSの数値に基づきABUが推計

年間売上高では米国が群を抜いて全世界労働者派遣業界の最大市場である。米国市場は2017年、1,170億ユーロ近くを生み出した。続いて日本がおよそ540億ユーロ、成長率22%で第2位となり、イギリス（350億ユーロ）、ドイツ（345億ユーロ）そしてフランス（210億ユーロ）がその後に続く。労働者派遣セクターにおいては、ヨーロッパの8か国が売上高トップ15か国にランクインされ、そのいずれの国も積極的な成長を示している。ベルギーが48%と、年成長率で最前線に位置づけられる。労働者派遣に好意的な国の規制により、ブラジルもまた全世界の市場ランキングにおいて10番目近辺に位置づけられ、売上高で60億ユーロに達している。

労働者派遣売上高をさらに見ていくと、トップ15か国のほとんどが過去3年間成長してきた。最も速く経済成長している国のひとつであるインドは世界中で２番目に大きな労働力を有し、労働者派遣セクターは2014年以来著しく成長しており、年間売上高はほぼ250%伸びた。スペイン及びイタリアは、2014年から2017年の間にそれぞれ98%及び70%の売上増を経験し、同じような傾向は、ドイツ（44%）、フランス（24%）、オランダ（30%）及びスイス（30%）に見られる。イギリスの労働者派遣市場は、2017年に10%成長したものの、Brexitの影響とも思われた、2016年の売上高27%減となったスランプからの回復途上である。

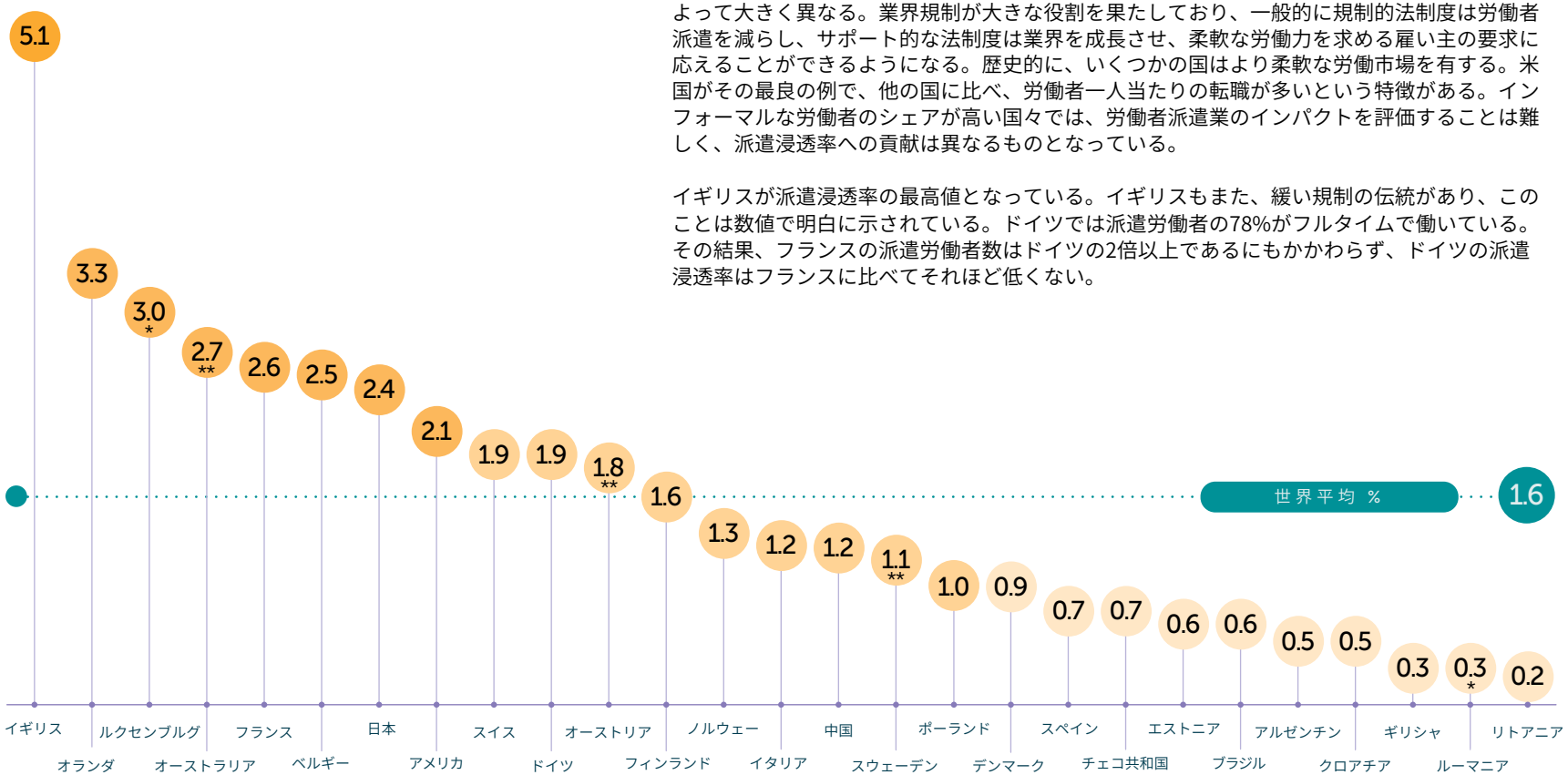
ヨーロッパ以外では、北米市場はトレンドが国により異なる。カナダ市場は2014年から2017年の間に徐々に縮小したが（-58%）、米国派遣市場は同じ3年間に売上高が24%増加した。

派遣浸透率は安定的

派遣浸透率、2017年 %

2017年、全世界平均の派遣浸透率は1.6%と、過去３年間と変わらない***。派遣浸透率は国によって大きく異なる。業界規制が大きな役割を果たしており、一般的に規制的法制度は労働者派遣を減らし、サポート的な法制度は業界を成長させ、柔軟な労働力を求める雇い主の要求に応えることができるようになる。歴史的に、いくつかの国はより柔軟な労働市場を有する。米国がその最良の例で、他の国に比べ、労働者一人当たりの転職が多いという特徴がある。インフォーマルな労働者のシェアが高い国々では、労働者派遣業のインパクトを評価することは難しく、派遣浸透率への貢献は異なるものとなっている。

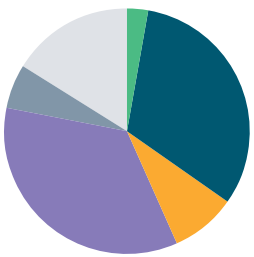
イギリスが派遣浸透率の最高値となっている。イギリスもまた、緩い規制の伝統があり、このことは数値で明白に示されている。ドイツでは派遣労働者の78%がフルタイムで働いている。その結果、フランスの派遣労働者数はドイツの2倍以上であるにもかかわらず、ドイツの派遣浸透率はフランスに比べてそれほど低くない。



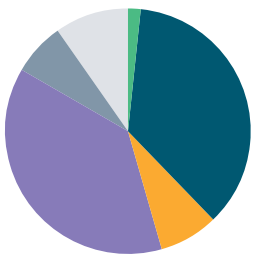
*2016年のデータ。** Staffing Industry Analystsのデータによる。***派遣浸透率の定義に関するさらなる情報は付録参照。

派遣労働者の大多数はサービス業界で働いている

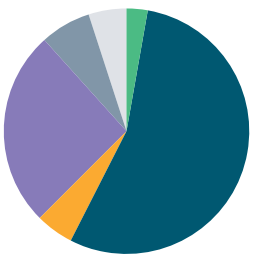
地域別の派遣労働者の産業別分布



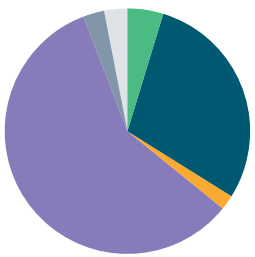
世界



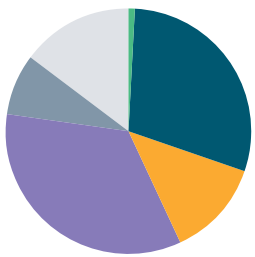
ヨーロッパ



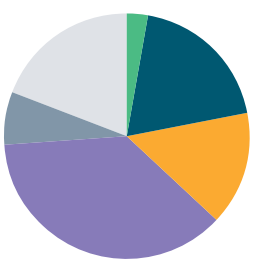
東ヨーロッパ *



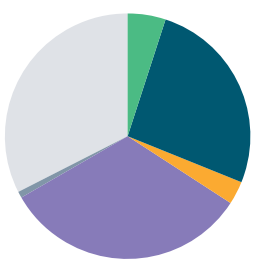
南ヨーロッパ **



中欧および
北ヨーロッパ ***



オーストラリア、
ニュージーランド、
及び日本



中南米

- 農業
- 製造業
- 建設業
- サービス業
- 公共サービス
- その他

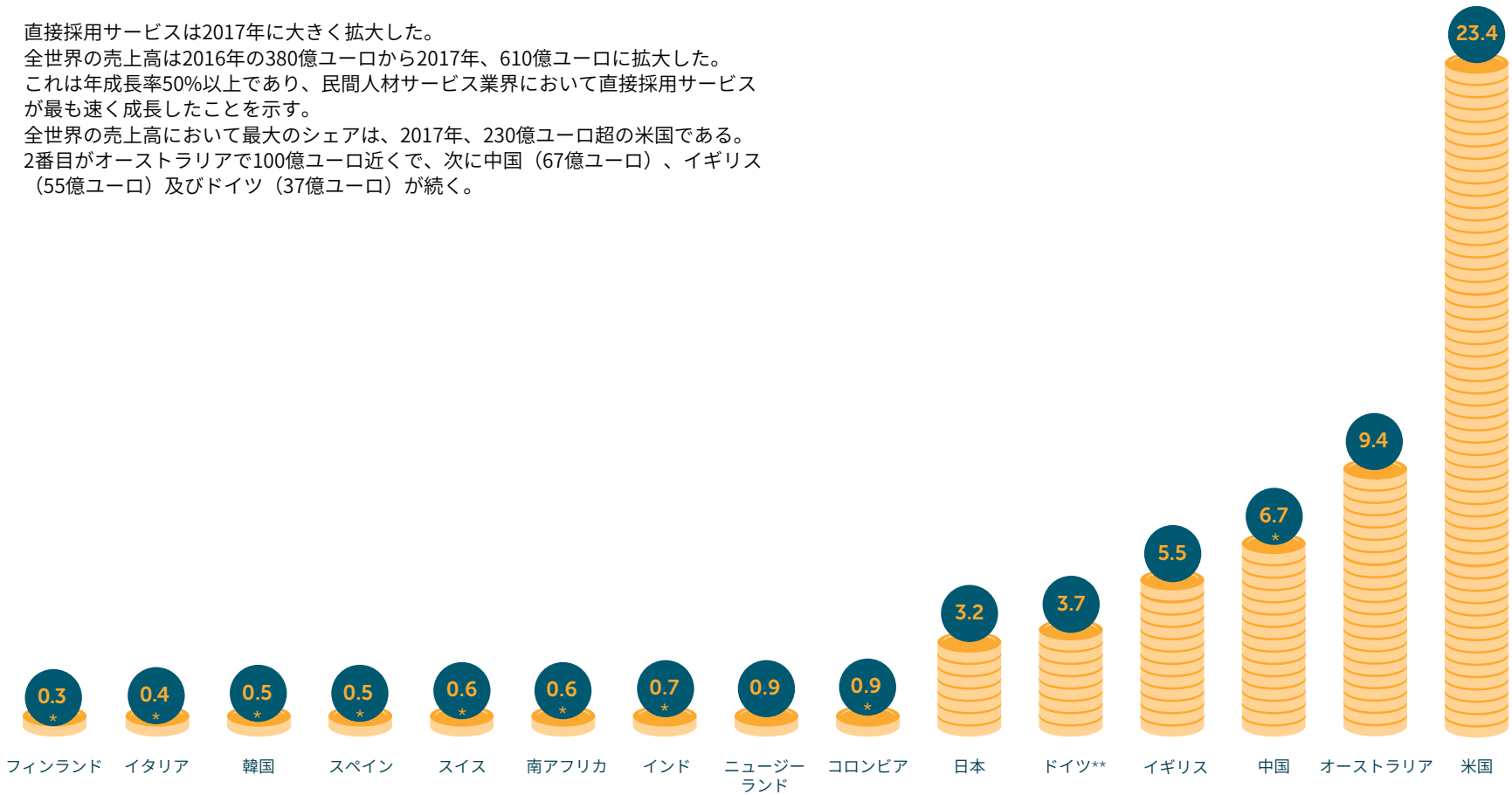
全世界のトレンドとしては、農業における雇用は徐々に減少しており、発展途上国や新興国においては製造業が取って代わり、先進国においてはサービス業種が労働力の多くのシェアを奪っている。これらのトレンドは派遣労働者の産業別分布においても見られる。全世界で、そして多くの地域において、サービス業種は、派遣労働者の最大のシェアを占めている。東ヨーロッパにおいては、製造業のシェアがサービス業種より高く、中央及び北ヨーロッパの国々においては逆となっている。同様に、農業及び製造業で働く派遣労働者のシェアは、オーストラリア、ニュージーランド及び日本に比較して中南米では高い。

*クロアチア、チェコ、ポーランド、ロシア **イタリア、スペイン、ポルトガル、ギリシャ ***ベルギー、フランス、ドイツ、オランダ、ノルウェー、スイス

直接採用は最高の成長率を経験

世界15大市場における直接採用売上高（単位：十億ユーロ）、2017年

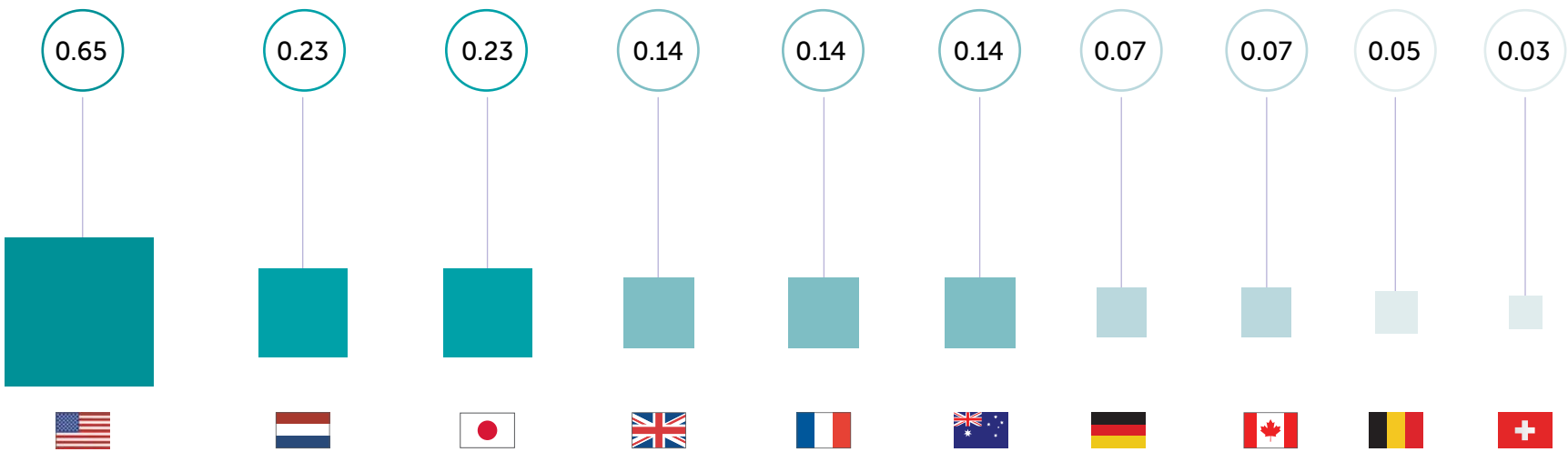
直接採用サービスは2017年に大きく拡大した。
全世界の売上高は2016年の380億ユーロから2017年、610億ユーロに拡大した。
これは年成長率50%以上であり、民間人材サービス業界において直接採用サービスが最も速く成長したことを示す。
全世界の売上高において最大のシェアは、2017年、230億ユーロ超の米国である。
2番目がオーストラリアで100億ユーロ近くで、次に中国（67億ユーロ）、イギリス（55億ユーロ）及びドイツ（37億ユーロ）が続く。



* Staffing Industry Analystsのデータによる。**2016年のデータ。

米国およびヨーロッパがキャリア移行及びアウトプレースメント市場をリードする

世界10大市場におけるキャリア移行 / アウトプレースメント売上高（単位：十億ユーロ）、2017年*

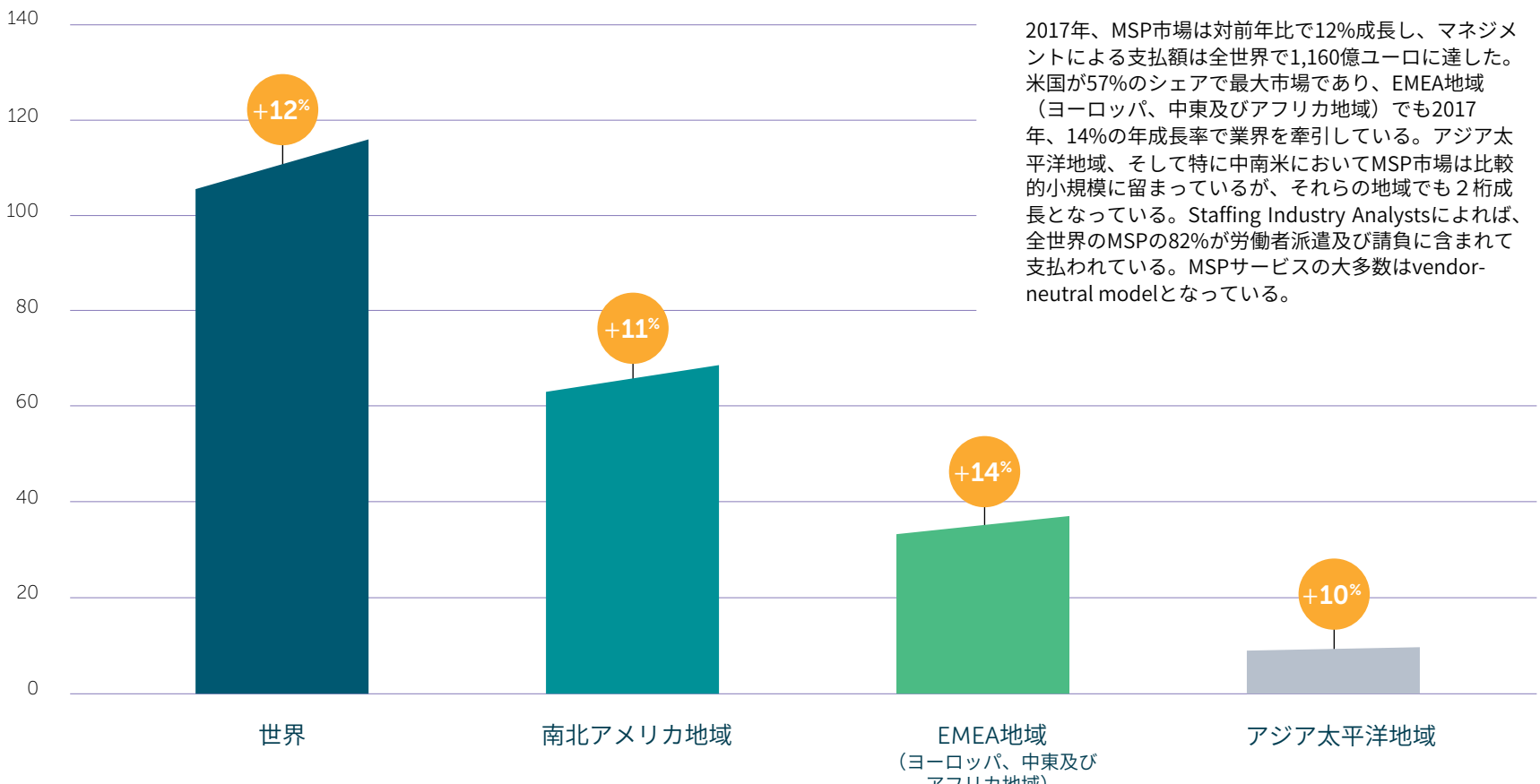


World Employment Confederationのメンバーによる推計によれば、（キャリアマネジメント業界の主要セグメントである）キャリア移行及びアウトプレースメントサービスは、2017年、全世界で20億ユーロに達した。ヨーロッパ及び北アメリカが最大の売上高シェアを占め、それぞれ7億ユーロ超を計上した。米国が最大の市場で、全世界の売上高の35%を占めている。ヨーロッパのトップ市場は、オランダ（2.3億ユーロ）、イギリス（1.4億ユーロ）、フランス（1.4億ユーロ）、ドイツ（0.7億ユーロ）そしてベルギー（0.5億ユーロ）となっている。アジア太平洋地域について見てみると、日本とオーストラリアが、キャリア移行及びアウトプレースメントサービスの売上高、それぞれ2.3億ユーロ及び1.4億ユーロと、強力な市場となっている。

*World Employment Confederationのメンバーによる推計に基づく。

MSPは各地域とも２桁成長を記録

MSP市場規模（単位：十億ユーロ）、2017年―前年比* %

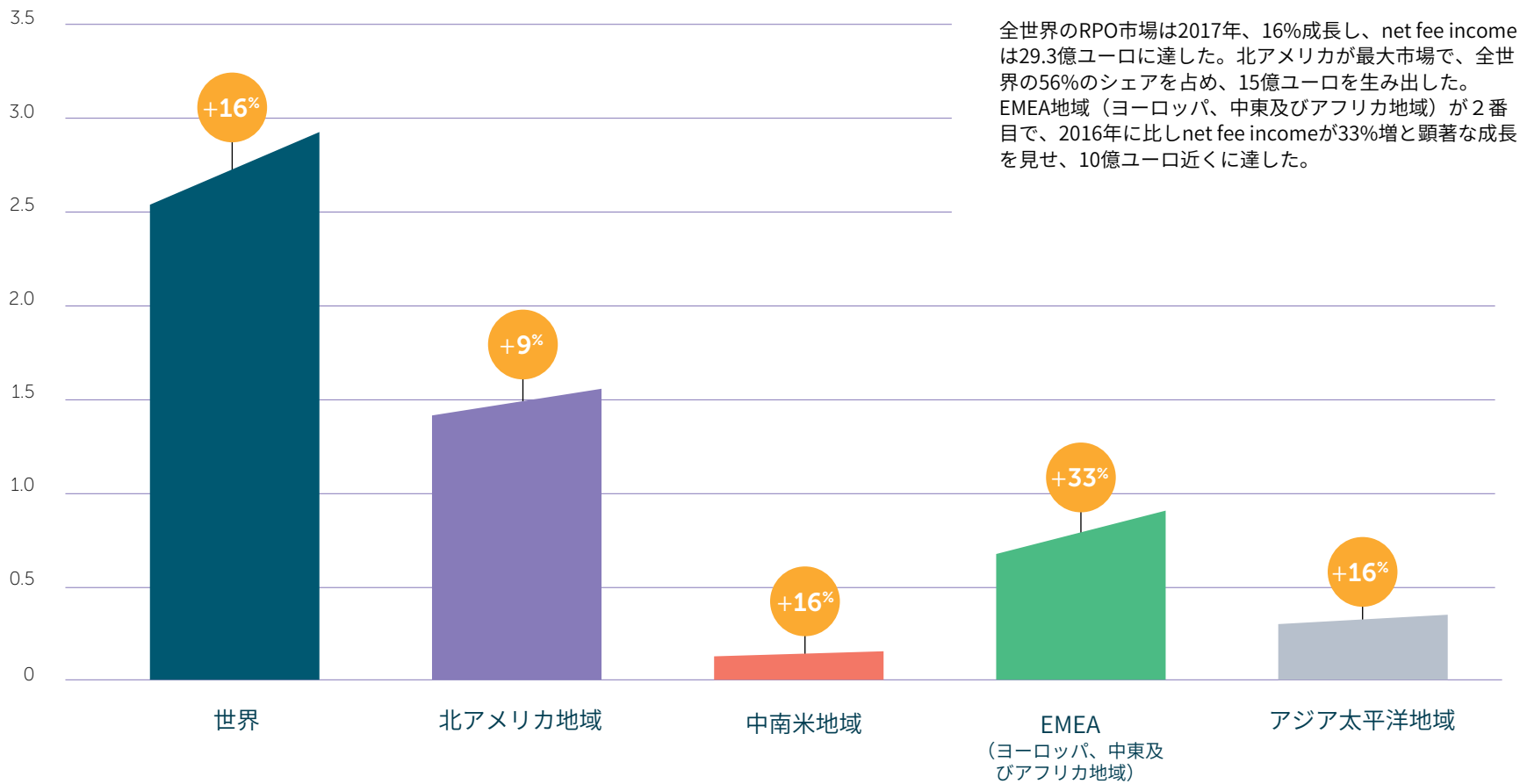


2017年、MSP市場は対前年比で12%成長し、マネジメントによる支払額は全世界で1,160億ユーロに達した。米国が57%のシェアで最大市場であり、EMEA地域（ヨーロッパ、中東及びアフリカ地域）でも2017年、14%の年成長率で業界を牽引している。アジア太平洋地域、そして特に中南米においてMSP市場は比較的小規模に留まっているが、それらの地域でも２桁成長となっている。Staffing Industry Analystsによれば、全世界のMSPの82%が労働者派遣及び請負に含まれて支払われている。MSPサービスの大多数はvendor-neutral modelとなっている。

* Staffing Industry Analystsのデータによる。**MSP契約において実際にサプライヤーによって請求された金額。Staffing Industry Analystsによる。

ヨーロッパ、中東及びアフリカ地域がRPOにおいて大きく成長した

RPO市場規模、net fee income（単位：十億ユーロ）、2017年一年成長率* %



全世界のRPO市場は2017年、16%成長し、net fee incomeは29.3億ユーロに達した。北アメリカが最大市場で、全世界の56%のシェアを占め、15億ユーロを生み出した。EMEA地域（ヨーロッパ、中東及びアフリカ地域）が２番目で、2016年に比しnet fee incomeが33%増と顕著な成長を見せ、10億ユーロ近くに達した。

* Everest Groupのデータによる。

北アメリカ：米国がトップを維持

プレースメント
1,570
万人

民間
人材サービス
会社
21,285
社

内部社員
406,000
人

数字に含まれる国

- カナダ
- メキシコ
- アメリカ

労働者派遣売上高
1,240
億ユーロ***

MSP売上高
703
億ユーロ*

直接採用売上高
237
億ユーロ

RPO売上高
16
億ユーロ**

米国は群を抜いて全世界最大の市場であり、北アメリカ市場を支配し、同地域の労働者派遣セクターの売上高の95%近くを生み出している。カナダ市場は2017年、労働者派遣売上高59億ユーロと、比較的安定的であった。この数値は2014年から58%ダウンしている。メキシコ市場は労働者派遣売上高で2017年、対前年比13%増と２桁成長をしたが、市場は小さい。
MSPについては、米国は全世界で最大の市場であり、2017年、年間支払額は650億ユーロであった。

*Staffing Industry Analystsのデータによる。**Everest Groupのデータによる。***労働者派遣により生み出されたMSPの売上高を含む。

南アメリカ：ブラジルが3倍に成長

数字に含まれる国

- アルゼンチン
- ブラジル
- チリ
- コロンビア
- ペルー

プレースメント
860
万人

民間
人材サービス
会社
10,284
社

内部社員
116,000
人

労働者派遣売上高
93
億ユーロ***

MSP売上高
13
億ユーロ*

直接採用売上高
11
億ユーロ

RPO売上高
1.5
億ユーロ**

南アメリカにおいては、ブラジルが最大市場であり、労働者派遣セクターで顕著な成長を見た。全世界ではブラジルは10番目の大市場である。人材サービスセクターに好ましい新規制の影響もあり、ブラジル市場は2016年、19億ユーロから2017年、60億ユーロに飛躍した。

*Staffing Industry Analystsのデータによる。**Everest Groupのデータによる。***労働者派遣により生み出されたMSPの売上高を含む。

ヨーロッパ：イタリア及びスペインで市場が高揚

プレースメント
1,080
万人

民間
人材サービス
会社
80,497
社

内部社員
502,000
人

労働者派遣売上高
1,530
億ユーロ**

MSP売上高
311
億ユーロ*

直接採用売上高
139
億ユーロ

ヨーロッパにおいては、イギリスが最大市場で、ヨーロッパにおける2017年の労働者派遣売上高の23%を生み出し、それに22.5%のドイツが続いている。フランス及びオランダがそれぞれ14%及び9%でそれに続く。全体として、全世界の15大労働者派遣市場の8か国がヨーロッパである。ほとんどのヨーロッパ諸国の市場がプラス成長を見たが、スペイン及びイタリアは特に印象的な市場の上昇を見せ、2014年から2017年まででそれぞれ98%及び70%の売上高が上昇した。

数字に含まれる国

オーストリア	リトアニア
ベルギー	ルクセンブルク
ブルガリア	オランダ
クロアチア	ノルウェー
チェコ共和国	ポーランド
デンマーク	ポルトガル
エストニア	ルーマニア
フィンランド	ロシア
フランス	スロバキア
ドイツ	スロベニア
ギリシャ	スペイン
ハンガリー	スウェーデン
アイルランド	スイス
イタリア	トルコ
ラトビア	イギリス

*Staffing Industry Analystsのデータによる。**労働者派遣により生み出されたMSPの売上高を含む。

アジア太平洋：紹介市場が特に堅調

数字に含まれる国

- オーストラリア
- 中国
- インド
- 日本
- ニュージーランド
- 韓国

プレースメント
1,560
万人

民間
人材サービス
会社
48,197
社

内部社員
160
万人

労働者派遣売上高
793
億ユーロ***

MSP売上高
98
億ユーロ*

直接採用売上高
214
億ユーロ

RPO売上高
3.5
億ユーロ**

日本、オーストラリア及び中国が全世界の15大労働者派遣市場に含まれ、5大直接採用市場に含まれる。
この地域の中では日本が最強市場であり、2017年、民間人材サービス売上高570億ユーロである。
直接採用サービス及びMSPについて見てみると、オーストラリアが非常に強く、市場規模はそれぞれ94億ユーロ及び49億ユーロとなっている。中国が2番目の直接採用市場（67億ユーロ）であるが、中国の人口規模を考慮すれば、オーストラリアがいかに成熟した市場であるかが分かる。

*Staffing Industry Analystsのデータによる。**Everest Groupのデータによる。***労働者派遣により生み出されたMSPの売上高を含む。

用語及び略語解説

労働者派遣（Agency work）

労働者派遣は三角雇用関係で、ILO第181号条約で次のように定義されている：「仕事を割り当てその実行を監督する人もしくは法人である第3者（通常は「派遣先企業」と言われる）のために利用させる目的で労働者を雇うサービス」。アジアにおいてはDispatched Labour、アフリカにおいてはLabor Hire、米国においてはTemporary Staffingと呼ばれる。

キャリアマネジメント（Career Management）

主要なサービス分野としては、個人のアウトプレースメントサービス、幹部のアウトプレースメントサービス、グループのアウトプレースメントサービス及びその他の転職サービスがある。これらの分野においては、アウトプレースメントサービス会社が幅広い人材サービスを提供する。それには、履歴（経歴）書作成、面接スキル、求職戦略、コーチング及びキャリアガイダンスが含まれる。一般的には雇い主がこれらのサービスにかかわるコストのすべてを負担する。

フルタイム換算の派遣社員数(Daily average number of agency workers (FTEs))

1年以上の期間で、ある国における全派遣社員の労働時間数を、1年以上の期間で、フルタイムで無期雇用契約の1人の労働者の平均労働時間数で割った数

直接採用（Direct Recruitment）

民間人材サービス会社が雇用関係の当事者となることなく、求人と求職のマッチングをするサービス（出典：ILO第181号条約）で、エグゼクティブサーチを含む。

Managed Services Provider (MSP)

MSPは、企業の臨時労働力計画の管理について一義的な責任を負うサービスである。MSPの典型的な責任には、全体的な計画の管理、報告、追跡、供給会社の選択及び管理、注文の振り分け、またしばしば統合請求書の送付を含む。大多数のMSPはまたクライアントにVendor Management System（VMS）を提供し、クライアントに対して物理的なプレゼンスを有している。MSPは派遣会社とは独立していることもそうでないこともある。

派遣浸透率(Penetration rate)

フルタイム換算の派遣社員数を、労働人口で割った数
ILOの定義によれば、「被雇用者は、1週間や1日のような特定の短期間に次のようなカテゴリーに当てはまっている生産年齢のすべての人を含む。
a)給与のある雇用（就業中もしくは休業中）
b)個人事業主（就業中もしくは休業中）」

民間人材サービス（Private employment services/Employment industry）

派遣労働は通常一緒に行われる、直接採用、キャリアマネジメント、RPO及びMSPといった人材サービスの一つである。幅広いこれらのサービスをまとめて民間人材サービスと呼ぶ。民間人材サービス会社は、クライアント企業の採用及び人事プロセス（の一部）を引き受けて、プロフェッショナルなサービスを提供する。この意味で民間人材サービスは、会計監査、マーケティング、施設管理のような他のプロフェッショナルサービスに匹敵する。

Recruitment Process Outsourcing (RPO)

第3者専門家として、クライアント企業の採用プロセス及び関連業務の全部又は一部をマネジメントする人事部機能を担い、必要なスキル、活動、ツール、テクノロジー及びプロセス方法論を提供する。

集計方法について

このレポートで示されたデータは2017暦年のものである。出典はデータによって様々であるが、大多数の数値はWorld Employment Confederationメンバーの各国協会から収集したものである。特に労働者派遣市場についてそのように言える。協会によっては直接協会メンバーからデータを収集しているし、他の協会は公共の統計やパートナーの調査会社からデータを収集している。World Employment ConfederationもまたStaffing Industry Analysts社とパートナーとなっており、種々の人材サービス（例えばMSP）についてより完全な業界評価を可能にした。RPO市場の数値はEverest Groupものを利用した。World Employment Confederationメンバーの各国協会から収集したものではない数値については脚注にその旨記載した。

民間人材サービス業界の全世界の市場規模の計算においては、労働者派遣、直接採用、MSP、RPO及びキャリア移行サービスの5つのサービス分野が含まれている。MSP事業の大部分は労働者派遣であるので、これら２つの分野の売上高の数値にはオーバーラップがある。従って、全世界市場規模の評価をより正確にするため、全世界MSP売上高の82%は、５つのサービス分野の売上高の合計から引いてある。

エコノミックレポート2019年版では、種々のサービスの市場規模算出方法をアップデートした。従って、以前のレポートで報告された数値をこの2019年版の数値と比較することはできない。

World Employment Confederationは統計を発表しているすべての国をカバーしているわけではないので、このレポートで示された数値には真実の姿を過小評価しているものがあるかも知れないことを留意願いたい。特に人材サービス会社数や内部スタッフ数はそうである。また、特定の国の情報がないということは、その国で人材サービスが提供されていないということではないことも留意願いたい。

方法論についての一般的もしくは特定の質問がある場合は、WEC本部の労働市場インテリジェンス・オフィサーの Robin Lechtenfeld (robin.lechtenfeld@wecglobal.org) までどうぞ。

World Employment Confederationの会員

各国協会会員

NORTH AMERICA
カナダ (CA)
メキシコ (MX)
アメリカ (US)

LATIN AMERICA
アルゼンチン (AR)
ブラジル (BR)
チリ (CL)
コロンビア (CO)
ペルー (PE)

AFRICA
モロッコ (MA)
南アフリカ (ZA)

NORTH EAST ASIA
中国 (CN)
日本 (JP)
韓国 (KR)

APAC SOUTHERN
オーストラリア (AU)
インド (IN)
インドネシア (ID)
ニュージーランド (NZ)
フィリピン (PH)
シンガポール (SG)
ベトナム (VN)

EUROPE
オーストリア (AT)
ベルギー (BE)
ブルガリア (BG)
クロアチア (HR)
チェコ共和国 (CZ)
デンマーク(DK)
エストニア (EE)
フィンランド (FI)
フランス (FR)
ドイツ (DE)
ギリシャ (GR)
ハンガリー (HU)
アイルランド (IE)
イタリア (IT)
ラトビア (LV)
リトアニア (LT)
ルクセンブルグ (LU)
オランダ (NL)
ノルウェー (NO)
ポーランド (PL)
ポルトガル (PT)
ルーマニア (RO)
ロシア (RU)
スロバキア (SK)
スロベニア (SI)
スペイン (ES)
スウェーデン (SE)
スイス (CH)
トルコ (TR)
イギリス (UK)

コーポレート会員

THE ADECCO GROUP

Group
YOUR JOB, OUR WORK

KELLY SERVICES

ManpowerGroup

randstad

RECRUIT
Recruit Global Staffing

trenkwalder

VON RUNDSTEDT

Disclaimer

This Economic Report is owned by the World Employment Confederation, whose registered office is at Tour & Taxis Building, Avenue du Port 86c, Box 302, 1000 Brussels, Belgium. Care and precaution were taken to ensure that the information published in this report is accurate but the World Employment Confederation publishes this content as supplied and is not responsible for its accuracy or timeliness. You must take appropriate steps to verify this information before acting upon it. Any use of this report or its content, including copying or storing it in whole or in part, other than for personal, media-related purposes or non-commercial use, is prohibited without the prior permission of the World Employment Confederation. In any case, the source of the information to be published should be mentioned as ©World Employment Confederation – Economic Report 2019.

LEADING
IN A CHANGING
WORLD OF WORK

Tour & Taxis Building
Avenue du Port 86c
Box 302, 1000 Brussels, Belgium

www.wecglobal.org

@WECglobal

World Employment Confederation

03/19 StephensonDesign.eu

WORLD
EMPLOYMENT
CONFEDERATION
The Voice of Labour Market Enablers